

14 東京の下水道のあゆみ



- 1884 明治17 ● レンガ積み暗きょの「神田下水」着工
- 1908 明治41 ● 「東京市下水道設計」告示(4月)
- 1913 大正 2 ● 「東京市下水道設計」第1期工事として第2区(今の三河島処理区)着工
- 1922 大正11 ● 三河島汚水処分場が運転開始(3月)
- 1943 昭和18 ● 下水道使用料金を徴収開始
- 1952 昭和27 ● 「汚水処分場」を「下水処理場」に改称
- 1961 昭和36 ● 汚泥処理工場の運転開始(芝浦)
- 1962 昭和37 ● 下水道局が発足(4月)
- 1964 昭和39 ● 「東京都市計画下水道」を変更、23区全域に下水道計画ができる(2月)
 - 落合処理場が運転開始、世界で初めて処理施設上部を公園として開放(3月)
 - 三河島処理場の処理水を工業用水道水に利用(8月)
- 1968 昭和43 ● 多摩川流域下水道建設事業を都が行い、所管を下水道局と庁議で決定(6月)
- 1970 昭和45 ● 下水道法改正(公共用水域の水質保全に資することを明記)
- 1983 昭和58 ● 南部スラッジプラントが運転開始(10月)
- 1984 昭和59 ● 多摩川上流処理場の高度処理水を利用して「野火止用水」清流復活(8月)
 - 落合処理場の高度処理水を利用して新宿副都心水リサイクルセンターが運転開始(10月)
- 1986 昭和61 ● 下水道台帳情報システム(SEMIS)が運用開始(4月)
- 1987 昭和62 ● 落合処理場で下水熱利用システム(アーバンヒート)運転開始(1月)
 - 落合処理場で高度処理施設(急速ろ過)が運転開始(4月)
- 1988 昭和63 ● 東京域レーダー雨量計システム(東京アメッシュ500)開局(6月)
- 1992 平成 4 ● 「第二世代下水道マスタープラン」を策定(7月)
- 1994 平成 6 ● 「神田下水」東京都指定史跡に指定される(3月)
 - 文京区後楽一丁目地区の地域冷暖房事業開始(7月)
- 1995 平成 7 ● 区部下水道普及率100%概成(3月)
 - 落合処理場の高度処理水を利用して「城南三河川」の清流復活(3月)
- 1996 平成 8 ● 南部スラッジプラントで軽量細粒材化施設が運転開始(4月)
- 1998 平成10 ● 下水道料金の改定(6月)
- 2000 平成12 ● 局キャラクター「アースくん」誕生
- 2001 平成13 ● 「下水道構想2001」を策定(3月)
- 2002 平成14 ● 「東京アメッシュ」インターネット公開(4月)



▲東京市下水道設計図(明治41年)



▲大正時代の浅草公園裏下水道管マンホール工事



▲世界初の上利用公園(落合処理場)(昭和39年)



▲神田下水が東京都指定史跡に指定(平成6年)

- 2003 平成15 ● 「三河島処理場旧主ポンプ室」が東京都指定有形文化財に指定される(3月)
- 2004 平成16 ● 「下水処理場」を「水再生センター」に改称(4月)
- 2005 平成17 ● 下水道台帳情報のインターネット公開(4月)
- 2006 平成18 ● 多摩川上流・八王子水再生センター間連絡管の運用開始(4月)
- 2011 平成23 ● 東日本大震災に伴う下水道施設復旧のため宮城県仙台市、千葉県浦安市、千葉県香取市へ支援隊を派遣(3月～)
- 2013 平成25 ● 「経営計画2013」を策定(2月)
- 重要文化財「旧三河島汚水処分場唧筒場施設」一般公開開始(4月)
- 「東京都虹の下水道館」リニューアルオープン(4月)
- 「下水道技術実習センター」開設(10月)
- 北多摩一号・南多摩水再生センター間連絡管の運用開始(10月)
- 「豪雨対策下水道緊急プラン」策定(12月)
- 2014 平成26 ● 東尾久浄化センター西日暮里系ポンプ室完成(5月)
- 「スマートプラン2014」策定(6月)
- 2015 平成27 ● 芝浦水再生センター内に民間の業務商業ビル「品川シーズンテラス」がグランドオープン(5月)
- 八王子市公共下水道北野処理区分流区域の流域下水道秋川処理区への編入開始(7月)
- 2016 平成28 ● 「経営計画2016」策定(2月)
- 熊本地震に伴う下水道施設災害復旧支援のため熊本市へ職員派遣(4月)
- 北多摩二号・浅川水再生センター間連絡管の運用開始(4月)
- 「技術開発推進計画2016」策定(12月)
- 2017 平成29 ● 「アースプラン2017」策定(3月)
- 「東京アメッシュ」スマートフォン版を配信開始(4月)
- 「東京下水道 見せる化マスタープラン」策定(4月)
- 2018 平成30 ● 「東京下水道 見せる化アクションプラン2018」策定(3月)
- ドイツ・シュタインハート社との共同研究に関する覚書締結(5月)
- 第11回国際水協会(IWA)世界会議・展示会開催(9月)
- 2019 平成31 ● 流域下水道50周年(4月)
- 令和元 ● 「下水道技術研究開発センター」リニューアルオープン(5月)
- 2021 令和3 ● 八王子市公共下水道北野処理区分流区域の流域下水道秋川処理区への編入完了(1月)
- 「経営計画2021」策定(3月)
- 都市整備局から下水道局への下水道指導事務の移管(4月)
- 「技術開発推進計画2021」策定(9月)
- 2022 令和4 ● 「有明水再生センターのWeb見学」開始(1月)
- 千代田幹線工事現場・九品仏幹線再構築工事現場において「下水道インフラオンライン見学会」を初開催(1月)
- 旧三河島汚水処分場の運転開始から100周年(3月)
- 「下水道浸水対策計画2022」策定(3月)
- 銭瓶町ビルディング(D棟)竣工(4月)
- 2023 令和5 ● 下水道事業における地球温暖化防止計画「アースプラン2023」を策定(3月)
- 2024 令和6 ● 令和6年能登半島地震に伴う輪島市の下水道施設の早期復旧支援のため職員派遣(1月～)
- 立川市公共下水道錦町処理区の流域下水道北多摩二号処理区への編入(3月)
- 2025 令和7 ● 局キャラクター「アースくん」デザインリニューアル(9月)



▲芝浦水再生センター内に「品川シーズンテラス」がグランドオープン(平成27年)